

(お知らせ)

30. 1. 19
防衛大学校

平成30年度防衛大学校一般採用試験（前期日程）における小論文試験問題の誤記に対する措置について

平成29年11月5日（日）に実施した平成30年度本科第66期防衛大学校一般採用試験（前期日程）小論文試験問題（「人文・社会科学」、「理工学」共通）において、問題の誤記、また、一部試験会場における試験問題の訂正及び試験時間延長の未伝達が発生したことについて、その影響を検証し、下記のとおり、措置を講じた上で、最終合格者の選考を実施しました。

受験者並びに関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。

記

1 小論文試験問題誤記に対する措置

(1) 解答内容に関する措置

問題の誤記に伴う誤解釈による解答や修正等があった解答があり、これらに関し受験者に不利益とならないよう適切な措置を講じました。

(2) 影響に対する措置

未伝達会場における受験者については、その影響を分析し、延長伝達されなかった会場における受験者に不利益、不公平とならないよう適切な措置を講じました。

2 今後の対応

今後、このような試験問題誤記が起こらないよう、試験問題のチェックをより一層厳重に行い、再発防止に努めて参ります。

(参考) 誤記の内容

平成30年度本科第66期一般採用試験（前期日程）小論文試験問題（「人文・社会科学」、「理工学」共通）の課題本文及び表に、次のとおり誤って記載。

誤：世界の二酸化炭素排出量に占める主要国の排出割合と各国の一人当たりの排出量の比較（2014年）

正：世界の二酸化炭素排出量（2014年）

課題：

次の図「世界の人口推移」と表「世界の二酸化炭素排出量に占める主要国の排出割合と各国の一人当たりの排出量の比較（2014年）」からそれぞれ読み取れることを、この図・表を見ていない人でもわかり易いように説明せよ。これを踏まえ、今後の地球環境で懸念されること及びその対策について、あなたの考えを述べよ。

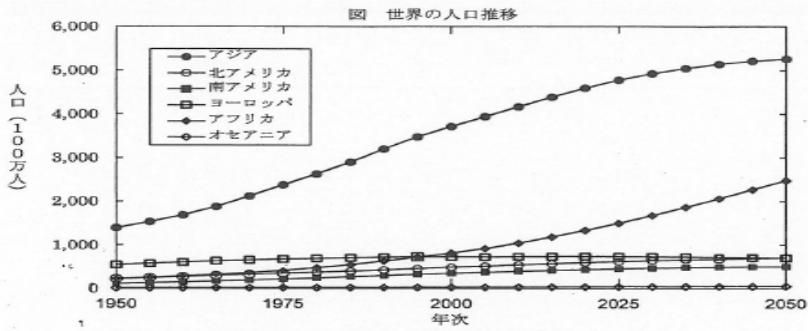


表 世界の二酸化炭素排出量に占める主要国の排出割合と
各国の一人当たりの排出量の比較（2014年）

国名	排出量（100万トン）	割合（％）
中国	9,347	28.3
アメリカ	5,221	15.8
インド	2,053	6.2
ロシア	1,584	4.8
日本	1,201	3.6
ドイツ	708	2.1
韓国	578	1.8
カナダ	518	1.6
ブラジル	493	1.5
メキシコ	469	1.4
インドネシア	439	1.3
イギリス	418	1.3
オーストラリア	358	1.1
イタリア	307	0.9
アフリカ合計	1,155	3.5
その他	8,160	24.7
世界排出量	33,009	—

出典元：世界の統計 2017（総務省統計局）（<http://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.htm>）
EDMC/エネルギー・経済統計要覧 2017年版（全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト）
（<http://www.jccca.org/>）を加工して作成

※ 小論文については、第2次試験受験者について採点し、
第2次試験の結果とあわせて最終合格の決定に用いております。

（問い合わせ先）

防衛大学校 教務部 入学試験課

電話：046（841－3810）

林 入学試験課長（内線2150）

高橋課長補佐（内線2151）